

ハクセル美穂子のポリティカル・テーマ

100年先も

「いわて」が「いわて」であるように、  
みんなで創る「いわて」

岩手県議会議員

ハクセル美穂子

いわて県政レポート

2019  
冬号

Growing Together!  
みんなで創る「いわて」

ハクセル美穂子 これまでの活動

2018年  
10月

◎商工文教委員会全国調査

今年度の全国調査は、2019年に4度目の瀬戸内国際芸術祭が行われる離島の町「香川県直島町」と福武財団(ベネッセでおなじみの福武書店の財団)が取り組むアートによる地域活性化事業を視察。1989年にスタートした「ベネッセアートサイト直島」の活動により地域がどのように世界に開かれていったのか、アートと島民との融和による地域活性化の成果を調査しました。年に50万人もの観光客が、直島に4つある美術館を訪れます。その中には多くの欧米人が含まれ、ホテルであるベネッセハウスの宿泊客の多くが外国人観光客でした。また、直島町で休耕田を再び耕作し、途絶えつつあった直島の米作りを復活させ、島の景観保全と島の文化を見直すきっかけを作る活動は、非常に参考になりました。

また、IT関連産業のサテライトオフィスを多く誘致している徳島県で始められた「デュアルスクール」事業も視察。1年のうちの数カ月を徳島のサテライトオフィスで働く親と共に東京の学校に通う児童が、煩雑な手続きを省略して徳島と東京の2つの学校で学ぶことができる取組は、新たな交流人口拡大に大きな役割を果たす事業であると感じました。



欧米からの観光客が圧倒的に多い直島町



アートの島、直島町。福武財団と直島町の取組を学ぶ



瀬戸内国際芸術祭時に作られたアートな温泉を今も地域の方が運営している

◎防災士資格取得研修会

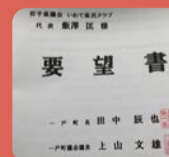
無事防災士の資格試験に合格することができました。

2018年  
11月

◎いわて県民クラブ  
県内市町村  
要望調査

次期総合計画策定を踏まえて、会派所属議員が分担して県内33市町村長と懇談しました。

私は、西和賀町、雫石町、滝沢市、一戸町、二戸市、軽米町の6市町を担当。県北・中山間地域の産業振興、県境連携の重要性について多数のご意見がありました。いただいたご意見は、今後の議会活動に活用します。ご協力ありがとうございました。



一戸町の縄文遺跡から発掘された「鼻曲がり土面」



西和賀町役場前にて

2018年  
12月

◎12月定例会

「スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の学校配置に要する費用の国庫負担拡充を求める意見書」を我が会派から提案し、全会一致で採択となりました。

県議会の  
ホームページは  
こちらです!



◎東日本大震災  
復興特別委員会

◎次期総合計画  
特別委員会

執行部から中間案に加えてアクションプランが提出され、その内容について審議しました。

◎県産木材利用促進  
条例策定検討会議

ウラ面ですく紹介します→

◎県民と県議会との  
意見交換会

ハクセル美穂子の公約の一つ、子育てサービスの充実に基づく施策がまた一つ実現!

## 「子育てしながらでも働きやすい岩手県へ! 県内保育所ができますよ。」

議員になってから3年の間、一般質問や委員会での質問の中でたびたび設置の必要性を取り上げてきた「県内保育所」が2021年4月に開所します!

私が議員に初当選した当時、4番目の息子は3歳でした。同期で当選した女性議員の方も末の息子さん3歳でした。まだ小さい子どもを抱えての議員活動。私も同僚の女性議員も、急な発熱や入院、突発的なケガのたびに議会活動との両立をどうしたらいいのか悩み相談しながらなんとかやりくりする日々を過ごしていました。

当時、議会の際には、息子を一時保育に預けていましたが、盛岡市にある議会議事堂から地元の保育園までの通勤時間は約40分。午後6時15分まで一時保育に預けることができますが、そうすると私は午後5時には議会を立たなければなり



初当選の時、私と当時3歳だった四男が取り上げられた共同通信社の記事

ません。しかし、その時間は議会の真最中です。夫や知人の助けを借りて対処していましたが、毎日が綱渡りのようでした。そんな時に心に浮かんだ施策が「県内保育所の設置」です。

小さい子どもを育てながら働く人々が安心して仕事に向き合えるように、職場の近くに子どもを預けられる環境が「一億総活躍社会」「女性活躍促進」には必要不可欠です。また、「県内保育所の設置」は、子育てと仕事の両立をみんなで支えるという意識の醸成にもつながると考え、その必要性を訴え続けてきました。

議会での私の質問を受け、県は、全職員を対象として庁舎内保育施設の必要性についてアンケート調査を実施、その結果、育休後の職場復帰を促すため等の理由で庁舎内に保育施設が必要であると答えた職員が70%以上に上り、県庁

内保育所設置の必要性が確認されたのです。その後も県庁内でたびたび検討が重ねられ、昨年12月に盛岡地区合同庁舎医療局棟の1階を改修して県庁内に小規模認可保育所を設置することが決定となりました。

定員18人の小さな認可保育所ですが、預け先が足りないという声が多い0歳から2歳までのお子さんを対象とし、定員のうち12人は県庁職員から、残り6人程度は地域枠として近くにお住い・お勤めの方からの受け入れを考えています。今回の設置をきっかけに、将来的には一時保育を受け入れることができるような保育施設に発展させることで、県の審議会等へ子育て中の方を会議メンバーに含めることや、若い女性議員の増加にも役立つ施設になると期待しています。

現在、全国的には7つの都県が県内保育所を設けており、東北では、福島県、宮城県に次いで3番目に県内保育所になります。「職場の近くに保育所があることで、送迎時間の短縮や子どもの病気などの突発的な事にも迅速に対応することができ、仕事と生活の両立がしやすくなり、職員が安心して職務に専念できるようになる」と設立を決めた岩手県もその効果を多に期待していますし、庁内保育所開所を契機として、岩手県内に仕事と子育て両立のための支援の輪が広がっていくきっかけになるよう切に願っています。

2019冬号コラム  
**COLUMN**

## つなげよう!岩手の豊かな森林を次世代へ — (仮称)岩手県産木材利用促進条例案を作成しています —

現在、岩手県議会では(仮称)岩手県産木材利用促進条例について検討を重ねています。

私は、条例案検討会議の会派代表メンバーとして、平成30年3月20日の第1回検討会議を皮切りに延べ12回の会議に出席し、関係者への事前調査や条文づくりを行っています。県土の約80%を森林が占める岩手県には、森林資源を有効に活用していくという責任があります。そのためには、県内の林業関係者、簡単に言うと「木を伐りだす人」「伐りだされた木を加工する人」「加工された木材を使う人」と行政が一体となり、「植える、育てる、使う、また植える」という森林の循環作用を保つことが大切です。また、森林を適正に管理するためには、植えて育てるだけでなく、「使う」ことが大事です。適切な時期に適切な量の森林資源を伐りだし、「使う」ことが、森林の適正管理には必要不可欠なのですが、その意義についてはまだまだ理解が進んでいません。

私が条例案検討の際に大切にしていた部分は、「県産木材製品を利用すること」「森林資源を将来につなげること」を県民に広く理解してもらう活動を促す条例にするという点でした。

当初案は、条例の中心となる「基本理念」の中に県民等の役割に関するものが書かれていませんでした。しかし、私はこの条例を本当に生かしていくためには、普段から林業にかかわる機会がある方だけでなく、普通にこの岩手で暮らす一般県民であっても、県産木材製品を「使う」ことで森林資源の保全の取組みに参加しているという意識を芽吹かせるという視点が必要不可欠であると考え、第3条基本理念に「県民一人一人が森林と人とのかかわりについて主体的に考え、積極的県産木材等を利用することが県民の豊かな暮らしの実現につな

ることに鑑み、県民の意識の高揚と自発的な取組を促進するよう行われること」という条文を入れるよう最後まで粘り強く主張しました。その結果、条例第3条基本理念の(4)に県民等の意識啓発にかかる項目を追加することができました。

平成18年度に導入された「いわての森林づくり県民税」と共に(仮称)岩手県産木材利用促進条例案が二つの輪となって、豊かな岩手の森林資源を守り岩手ならではの林業・木材産業の振興に寄与することを期待しています。

(仮称)岩手県産木材利用促進条例案は、次の定例会(2月定例会)で本会議において提案され、そののち所管の農林水産委員会へ付託されます。付託された所管委員会での審査終了後に本会議にかけられ議決が諮られる予定です。

皆さんもぜひ、県産木材や木材製品を日々の暮らしの中でご利用ください。岩手の森林がさらに身近に感じられる事、間違いなしです!



住田町役場2階の特徴ある梁



住田町役場に隣接する消防署。県産木材を使用した圧巻の作り

大野木工写真

キャプション□□□□□□□□□□

### ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ  
家族 / アメリカ人の夫、4人の息子(小6、小4、小3、年長)  
職業 / 英会話教室経営  
趣味 / 読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり  
学歴 / 雫石町立御明神小学校 [S62卒]・雫石町立雫石中学校 [H2卒]・盛岡第四高等学校 [H5卒]・岩手大学農学部 [H9卒]  
経歴 / 平成9年 雫石町役場入庁  
平成17年 夫とともにアメリカへ移る  
平成18年 (株) Shady Grove Intl設立 代表取締役就任  
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選

ハクセル美穂子オフィシャルFacebook  
<https://www.facebook.com/mihokopage/>

